

YOSHU サロン マンスリーコンサート Vol.99

ピアノの先祖 癒しの打弦楽器 ハンマーダルシマーをあなたに ♪ 稲岡 大介 ハンマーダルシマー の世界 ♪ ~~ アイルランドの曲を 岡崎 泰正 (ギター) と共に ~~

日 時： 2014年 5月 15日 (木) 開 演： 19:00 (開場 18:30)
会 場： YOSHU ホール 〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-4-11 モリビル 2階

◆ 会 費 ◆ 全自由席 (軽食&ドリンク付) **3000** 円
~ ご予約承ります。下記にてお申込みくださいませ ~

◇ program ◇

アイルランド音楽を中心に.....

ロンドンデリーの歌・アニーローリー 他 アイリッシュダンスの音楽の数々

◇ profile ◇

稲岡 大介 (いなおか だいすけ) ハンマーダルシマー

アイルランド音楽、クラシック、日本の叙情曲、オリジナル曲などジャンルを越えた演奏活動を行う関西屈指のダルシマー奏者。4歳からピアノを始める。名古屋フィルハーモニー交響楽団所属ピアニスト、堀内久世氏にピアノを師事。大阪スクールオブミュージック専門学校作曲学科に在籍中「人と自然のふれあいフェスタ 2000 in 長野」のテーマ曲に作品が採用され作曲家としてデビュー。デビュー後、学生と平行しながら音楽制作会社所属作曲家兼ピアニストとなる。ダルシマーとは専門学校生時代に出会い、その美しい音色に魅了され勉強を始める。2010年12月、関西ケルト/アイリッシュ・コンビレーションアルバム「ケルトシットルケ」に Beats of Fairy として参加。2011年6月、ダルシマーとピアノによる日本の歌「ノスタルジア」リリース。2011年11月、ダルシマーとチェンバロによるケルト×バロック「Heart's-Ease」リリース。2013年8月、ダルシマーとチェンバロによるケルト×バロック「Ae Fond Kiss」リリース。これまでに 10 枚の CD をリリース及びプロデュース。2012年7月、イタリア、プーリア州アルペロベッロで開催された『世界音楽フェスティバル』に日本代表として参加。1979年生まれ。兵庫県川西市出身。兵庫県伊丹市在住。
■ <http://www.inaokadaisuke.net/>



岡崎 泰正 (おかざき やすまさ) シンガーソングライター、ギタリスト、作・編曲

13歳よりクラシックギターを小野剛蔵氏に師事し、同時に様々なギター奏法、音楽理論、アレンジなどを独力で習得。17歳で読売ギターコンクール高校生の部『銀賞』を受賞、19歳で同コンクール大学生の部『銅賞』受賞。自身をカテゴライズせず音楽性に幅を持たせ、シンガーソングライター、サポートギタリストとして、また様々なフィールドへの楽曲提供、演劇とのコラボレーション等を実現してきた。揺-YURA-「SOUVENIR」, 「longing」, 岸本タロー「春の陽」, 「星の上で」。功刀丈弘「The Man The Fiddler」。大森ヒデノリ「白夜弦想」などでの録音がある。また、父坂東竹三郎一門による『竹登会』、ミュージカル工房『おともだち』の定期公演での劇中歌の作曲と生演奏など幅広く活躍。

◆◆ 今後の予定 ◆◆

Vol.100 2014年6月19日(木) 19:00~ 100回記念コンサート!

◆チケットのお問合せ・お申込みは下記までお願い致します。

YOSHU (よしゅう) ホール

〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-4-11 モリビル 2階
TEL 06-6261-7827 携帯 090-8200-6294
FAX 06-6261-7828
MAIL yoshu-hall@kta.biglobe.ne.jp
IP <http://www.yoshuhall.info>



2014年5月のマンスリーコンサート

あの名画「第三の男」で流れていたツィター！音色を覚えておられる方も多いと思います。

ハンマーダルシマーは、そのツィターの仲間。ルーツはペルシャのサントウル（百本の弦の意味）とか。台形の箱に張られた弦を2本のバチで叩いて演奏する打弦楽器で「ピアノの原形」と言われています。日本では演奏家も愛好家も少なく、めったに聴けないハンマーダルシマー！是非YOSHUホールで味わってください！耳馴染みの曲も沢山演奏していただけるのも楽しみです。

ほんとに

ご予約はお早目に！

～出演者より～

ハンマーダルシマーの美しい音色で

アイルランド音楽の名曲の数々を演奏いたします。

是非！皆様ご来聴ください。

私の尊敬するギタリスト岡崎泰正氏との共演も

お楽しみくだされば幸いです。

♪ 稲岡大介 ♪

～事務局より～

ハンマーダルシマーのダルシマーは、ラテン語で『美しい音』という意味だそうです。中国の揚琴、ハンガリーのツィンバロンなど、それぞれの国で微妙に姿と名前が変わりますが、その音色は、ハープのようでありピアノのようであり、心に優しく響くのです。音楽療法にも効果があるとのこと。心を落ち着けてじっくりと演奏に聴き入り是非とも癒されたいと思います。ギターとの音色との妙も聴きもの！お二人の共演！楽しみです。みなさまも是非！！

